

岡病防第12号  
平成27年8月3日

各関係機関長 殿

岡山県病害虫防除所長  
(公印省略)

病害虫発生予察情報について

病害虫発生予報第5号を下記のとおり発表したの送付します。

平成27年度病害虫発生予報第5号

平成27年8月3日  
岡山県

予報概評

作物名	病害虫名	発生時期	発生量
水稲	葉いもち(中生種、晩生種)	—	やや少
	穂いもち(極早生種、早生種)	—	並
	紋枯病	—	やや少
	白葉枯病	並	並
	穂枯れ(早生種、中生種)	—	やや少
	ニカメイガ	並	並
	セジロウンカ	—	並
	トビイロウンカ	並	並
	イチモンジセセリ	—	並
	コブノメイガ	—	やや少
カメムシ類	—	やや少	
ダイズ	べと病	—	やや少
	紫斑病	—	やや少
	ハスモンヨトウ	並	並
モモ	モモハモグリガ	—	少
	ナシヒメシンクイ	—	やや少
	ハダニ類	—	並
ブドウ	さび病	並	並
	褐斑病	—	<b>やや多</b>
	べと病	—	<b>やや多</b>
	ブドウトラカミキリ	並	並
	フタテンヒメヨコバイ	やや遅	やや少

作物名	病虫害名	発生時期	発生量
キュウリ	べと病 うどんこ病 褐斑病	— — —	並 並 やや少
トマト	疫病 葉かび病	やや遅 —	少 <b>やや多</b>
ダイコン	軟腐病	—	<b>やや多</b>
アブラナ科野菜	キスジノミハムシ	—	やや少
野菜共通	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ ハスモンヨトウ	— — 並	<b>やや多</b> やや少 並
キク	ハダニ類	やや遅	やや少

## 1 普通作物

(水 稲)

### (1) 葉いもち (中生種、晩生種)

予報内容

発生量                      やや少

予報の根拠

ア. 7月22～24日の巡回調査によると、県南部地帯の発生圃場率は27.8%で平年(56.3%)より低かった。

イ. 7月30日の季節予報によると、8月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か少ないとされており、発生を助長する条件ではない。

防除上の参考事項

ア. 葉いもちは穂いもちの伝染源となるので、発生圃場では速やかに薬剤防除を実施する。未発生圃場でも耐病性が弱い品種では初発後の病勢進展が速いので、早期発見に努める。

イ. 不安定な大気の状態で、にわか雨などが続くと病勢が進展する可能性がある。

### (2) 穂いもち (極早生種、早生種)

予報内容

発生量                      並

予報の根拠

ア. 7月22～24日の巡回調査によると、県北部地帯の葉いもちの発生圃場率は10.0%で平年(19.3%)より低く、中部地帯は62.5%で平年(43.2%)より高かった。

イ. 7月30日の季節予報によると、8月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か少ないとされており、発生を助長する条件ではない。

#### 防除上の参考事項

- ア. 葉いもちが多発するなど穂いもちの多発が予想される場合は、液剤または粉剤による出穂直前及び穂首出揃期の2回防除に加えて、傾穂期の散布を行う。
- イ. 県中部では、発生がやや多くなっているので圃場をよく観察し、発生を確認したら防除を徹底する。
- ウ. 不安定な大気の状態で、にわか雨などが続くと病勢が進展する可能性がある。

#### (3) 紋枯病

##### 予報内容

発生量                      やや少

##### 予報の根拠

- ア. イネの茎数は全般的に平年よりやや少～並である。
- イ. 7月22～24日の巡回調査によると、発生圃場率は11.1%で平年（22.8%）より低かった。
- ウ. 7月30日の季節予報によると、8月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か少ないとされており、特に発生を助長する条件ではない。

#### 防除上の参考事項

- ア. 昨年多発生した圃場では伝染源が多いと考えられるので、圃場をよく観察し、適切に防除を行う。

#### (4) 白葉枯病

##### 予報内容

発生時期                      並

発生量                          並

##### 予報の根拠

- ア. 7月22～24日の巡回調査において、平年同様発生を認めなかった。
- イ. 7月30日の季節予報によると、8月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か少ないとされており、特に発生を助長する条件ではない。

#### (5) 穂枯れ（ごま葉枯病菌による穂枯れ：早生種、中生種）

##### 予報内容

発生量                          やや少

##### 予報の根拠

- ア. 7月22～24日の巡回調査によると、県内全域での葉におけるごま葉枯病の発生圃場率は2.2%で平年（11.9%）より低かった。
- イ. 7月30日の季節予報によると、8月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か少ないとされており、特に発生を助長する条件ではない。

#### (6) ニカメイガ（第2世代幼虫）

##### 予報内容

発生時期                      並

発生量                          並

##### 予報の根拠

- ア. 赤磐市のフェロモントラップにおいて、7月5半旬までに誘殺は認められず、平年（0頭）並であった。
- イ. 7月22～24日の巡回調査において、平年同様発生を認めなかった。

#### (7) セジロウンカ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 赤磐市の予察灯における7月1～5半旬の飛来数は、9頭で平成(100.5頭)より少なかった。

イ. 7月22～24日の巡回調査によると、発生圃場率は63.3%で平成(54.2%)並、すくい取り(20回振り)調査での成幼虫数は21.5頭で平成(37.2頭)並であった。

ウ. 7月30日の季節予報によると、8月の気温は平成並か高く、降水量は平成並か少ないとされており、気温が高い場合は本虫の増殖を助長する条件となる。

(8) トビイロウンカ

予報内容

発生時期 並

発生量 並

予報の根拠

ア. 赤磐市の予察灯における7月1～5半旬の飛来数は、0頭で平成(0.2頭)並であった。

イ. 7月22～24日の巡回調査において、平成同様に発生を認めなかった。

ウ. 7月30日の季節予報によると、8月の気温は平成並か高く、降水量は平成並か少ないとされており、気温が高い場合は本虫の増殖を助長する条件となる。

防除上の参考事項

ア. 圃場をよく観察し、本虫を確認したら直ちに防除を徹底する。

イ. 本虫は圃場内に局在し、また稲の株元に集中するので、より多くの稲の株元を丁寧に観察する。

(9) イチモンジセセリ(第2世代幼虫)

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 7月22～24日の巡回調査によると、発生圃場率は3.3%で平成(6.9%)並であった。

イ. 7月30日の季節予報によると、8月の気温は平成並か高く、降水量は平成並か少ないとされており、気温が高い場合は本虫の増殖を助長する条件となる。

(10) コブノメイガ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア. 7月22～24日の巡回調査によると、発生圃場率は10.0%で平成(36.4%)よりやや低かった。

イ. 7月30日の季節予報によると、8月の気温は平成並か高く、降水量は平成並か少ないとされており、気温が高い場合は本虫の増殖を助長する条件となる。

(11) カメムシ類

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア. 7月21日の県北部イネ科牧草地のすくい取り調査（20回振り）によると、アカスジカスミカメの成虫数は71.3頭で平年（170.4頭）より少なかった。

イ. 赤磐市の予察灯における7月1～5半旬のアカスジカスミカメの誘殺数は293頭で平年（488.8頭）より少なかった。

ウ. 7月30日の季節予報によると、8月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か少ないとされており、気温が高い場合は本虫の増殖を助長する条件となる。

(ダイズ)

(1) ベと病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア. 7月30日の季節予報によると、8月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か少ないとされており、発生をやや抑制する条件となる。

(2) 紫斑病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア. 7月30日の季節予報によると、8月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か少ないとされており、発生をやや抑制する条件である。

(3) ハスモンヨトウ

予報内容

発生時期 並

発生量 並

予報の根拠

ア. 県予察圃場（赤磐市）のフェロモントラップにおける7月1～5半旬の誘殺数は229頭で、平年（199.7頭）並であった。

イ. 7月30日の季節予報によると、8月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か少ないとされており、気温が高く、降水量が少ない場合は本虫の増殖を助長する条件となる。

## 2 果 樹

(モ モ)

(1) モモハモグリガ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

ア. 赤磐市のフェロモントラップにおける7月1～5半旬の誘殺数は1頭で、平年（95.7頭）より少なかった。

イ. 7月16日の巡回調査によると、発生圃場率は0%で平年（4.7%）より低かった。

ウ. 7月30日の季節予報によると、8月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か少ないとされており、気温が高く、降水量が少ない場合は本虫の増殖を助長する条件となる。

## (2) ナシヒメシンクイ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア. 赤磐市のフェロモントラップにおける7月1～5半旬の誘殺数は37頭で、平年(59.1頭)より少なかった。

イ. 7月16日の巡回調査によると、発生圃場率は32.1%で平年(42.6%)より低かった。

ウ. 7月30日の季節予報によると、8月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か少ないとされており、気温が高く、降水量が少ない場合は本虫の増殖を助長する条件となる。

## (3) ハダニ類

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 7月17日の巡回調査によると、発生圃場率は25.0%で平年(27.0%)並であった。

イ. 7月30日の季節予報によると、8月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か少ないとされており、気温が高く、降水量が少ない場合は本虫の増殖を助長する条件となる。

## (ブドウ)

### (1) さび病

予報内容

発生時期 並

発生量 並

予報の根拠

ア. 7月16日の巡回調査において、平年同様発生を認めなかった。

イ. 7月30日の季節予報によると、8月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か少ないとされており、気温が高く降水量が少ない場合は発生を助長する条件となる。

### (2) 褐斑病

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

ア. 7月21日の県予察圃場での発病葉率は52.0%で平年(44.1%)並の発生であった。

イ. 7月16日の巡回調査によると、発生圃場率は64.3%で、平年(2.7%)より高かった。

ウ. 7月30日の季節予報によると、8月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か少ないとされており、降水量が少ない場合は発病を抑制する条件となる。







%)よりやや高かった。

イ. 7月30日の季節予報によると、8月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か少ないとされており、気温が高い場合は発生を助長する条件となる。

(アブラナ科野菜)

(1) キスジノミハムシ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア. 7月27～28日の巡回調査によると、ダイコンでは発生圃場率が16.7%で平年(47.8%)より低かった。

イ. 7月30日の季節予報によると、8月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か少ないとされており、気温が高く、降水量が少ない場合は発生を助長する条件となる。

(野菜共通)

(1) アブラムシ類

予報内容

発生量 **やや多**

予報の根拠

ア. 県予察圃場(赤磐市)の黄色水盤への7月1～5半旬の飛来数は131頭で平年(49.4頭)より多かった。

イ. 7月27～28日の巡回調査によると、トマトでは発生圃場率が50.0%で平年(26.9%)より高く、キュウリでは20.0%で平年(25.1%)並であった。

ウ. 7月30日の季節予報によると、8月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か少ないとされており、気温が高く、降水量が少ない場合は発生をやや抑制する条件となる。

(2) ミナミキイロアザミウマ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア. 7月27～28日の巡回調査によると、露地野菜(ナス、キュウリ)での発生量は平年より少なかった。

イ. 7月30日の季節予報によると、8月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か少ないとされており、気温が高く、降水量が少ない場合は発生を助長する条件となる。

(3) ハスモンヨトウ

予報内容

発生時期 並

発生量 並

予報の根拠

ア. 県予察圃場(赤磐市)のフェロモントラップにおける7月1～5半旬の誘殺数は229頭で、平年(199.7頭)並であった。

イ. 7月27～28日の巡回調査によると、ナス、キュウリでは平年同様発生を認めなかった。

ウ. 7月30日の季節予報によると、8月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か少ないとされており、気温が高く、降水量が少ない場合は発生を助長する条件となる。

#### 4 花き類

(キク)

##### (1) ハダニ類

予報内容

発生時期                    やや遅

発生量                      やや少

予報の根拠

ア. 7月27～28日の巡回調査によると、発生圃場率は0%で平年(12.7%)より低かった。

イ. 7月30日の季節予報によると、8月の気温は平年並か高く、降水量は平年並か少ないとされており、気温が高く、降水量が少ない場合は発生を助長する条件となる。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。アドレスは、  
[http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec\\_sec1=239](http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239) です。